

音楽リエゾンセンター認定演奏員が奏でる春の息吹

第8回

Spring Concert

宮城学院女子大学音楽リエゾンセンター スプリングコンサート

Program

ピアノ

C. ヴェイン
5つのバガテル

F. リスト

巡礼の年 第1年「スイス」4. 「泉のほとりで」
巡礼の年 第2年「イタリア」4. 「ペトルカカの子守歌」第47番

L.v. ベートーヴェン

ピアノソナタ第14番「月光」Op.27-2 第2,3楽章

A. ヒナステラ

クレオール舞踏組曲 作品15

F. リスト

イゾルデの愛の死(ワーグナー)

F. ショパン

ピアノ協奏曲 第2番 Op.21 第2楽章「ラルゲット」

ピアノ連弾

G. アンダーソン

J. シュトラウスⅡの『美しく青きドナウ』による幻想曲

オーボエ

J.W. カリヴォダ

サロンのための小品 Op.228

クラリネット

E. ショーン
アンダンテとアレグロ

2023年度新規認定



原田満梨奈
ピアノ



宮崎ゆかり
ピアノ



榎本未来
ピアノ



金井江里
ピアノデュオ



竹田真知子
ピアノデュオ



菊地みほ
ピアノ



佐藤晴香
ピアノ



庄子三未
ピアノ



築田ちゆり
クラリネット



三澤真由
オーボエ

今回演奏する10名以外の認定演奏員名は裏面をご覧ください

2023 5/20 (土) 入場無料



15:00開場 / 15:30開演
宮城学院 大学講堂
(仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1)

お問合せ

宮城学院女子大学音楽リエゾンセンター
TEL・Fax 022-277-6252 / mail mlc@mgu.ac.jp

新型コロナウイルス感染の状況により、催事の内容を変更する場合があります。
音楽リエゾンセンターのホームページより、ご確認ください。



宮城学院までのアクセス

- 【仙台駅 西口バスプール】 3番のりば(宮城交通バス) 「宮城学院前行」乗車→「宮城学院前」下車
2番のりば(宮城交通バス) 「宮城大学行」「JCHO仙台病院行」乗車→「宮城学院前」下車
13番のりば(仙台市営バス) 「宮城学院行」乗車→「宮城学院前」下車
- 【地下鉄旭ヶ丘駅から】 3番のりば(宮城交通バス) 「宮城学院前行」乗車→「宮城学院前」下車

※乗り場案内・経路・運賃等は変更となる場合があります。詳しくは、下記よりご確認ください。
宮城交通ホームページ (<http://www.miyakou.co.jp/top.php>) 仙台市交通局ホームページ (<http://www.kotsu.city.sendai.jp/>)

主催 宮城学院女子大学音楽リエゾンセンター

宮城学院女子大学音楽リエゾンセンター

2016年に創立130年を迎えた宮城学院は、創立当初から音楽教育に力を入れてきました。そのなかで培って来た音楽力を社会と”つなぎ”(リエゾンliaison)、さまざまな形で音楽に関わる方同士を”つないで”、ともに豊かな音楽文化を創っていくために、2016年4月に設置されたのが本センターです。
センターは、次のような事業を担います。

■学内音楽行事の運営サポート

2016年度は、宮城学院創立130周年記念コンサート「詩画と音楽でつづる星野富弘の世界」
2019年度は、宮城学院女子大学 開設70周年記念コンサート「MG音楽祭」

■大学全学教育の音楽科目運営サポート

基礎教育「MGUスタンダード」の「音楽の世界」(全学部1年生必修)の運営サポートなど

■「認定演奏員」制度の運営

本センターがオーディションによって演奏力・音楽力を認めた演奏者を、地域からの要請とつなぐ制度です。2022年度は34組(36名)が、市民センター、福祉施設や幼稚園の催事で演奏、市民講座や、教育機関での講師などにあたっています。コンクールの伴奏等も可能です。また、本学のさまざまな行事や教育補助も担います。



仙台市内の大学催事にて演奏



仙台市内の市民センターでの演奏



仙台市内童謡フェスティバルでの演奏



仙台市内幼稚園催事にて演奏

■2022年度から継続の演奏員

声楽(ソプラノ) :阿部絵美子、桂嶋幸美、北村裕子、今野 愛、佐藤順子、中澤香織、森 由紀、原田洋子 ※1
声楽(メゾソプラノ) :赤間夏海、関本 愛
ピアノ :我妻 郁、大岩千華、千葉絵里子、中居瑞葉、伏見 姿、藤本純子、渡邊千晶
伴奏ピアノ :磯村順子、上野彰子、仙石 桂
フルート :小畑実織 ※2、佐々木 舞、佐藤玲子
フルート・ピアノアンサンブル:松山友美・松原由佳

※1原田洋子は今野愛と声楽アンサンブル ※2小畑実織は2023年度新規認定

■「楽友ネットワーク」の運営

ジャンル自由(クラシック、吹奏楽、合唱、ジャズ、ロック、邦楽・和楽器、民謡音楽、民俗芸能など)、音楽との関わり方もさまざま(演奏、作曲・制作、企画・運営、鑑賞など)、音楽とともに生きる「楽友」同士が、音楽情報、活動情報を交換し合い、そこから新たな音楽活動をつくっていくためのしぐみです。2022年度は58組が参加。

楽友会員は年2回募集しており、2023年度の秋募集は9月頃を予定しております。

本センターの活動の詳細および認定演奏員のプロフィール等は、宮城学院女子大学ホームページおよび音楽リエゾンセンターフェイスブックで随時お知らせしています。右の二次元バーコードを読みとるか、「音楽リエゾンセンター」で検索してください。



音楽リエゾンセンターのシンボルマークについて

本学の校章にちなんだ「鳩」、音楽をつくる「音符」をモチーフにし、周辺を「友情」「愛情」の花言葉のある「ミモザ」で飾った意匠。色はスクールカラーです。

本学生活デザイン学科の丹波成美さん(2017年度4年生)の作品です。